



新年のご挨拶

大阪府信用金庫健康保険組合
理事長 高井 嘉津義



あけましておめでとございます

組合員ならびにご家族の皆さまにおかれましては、新たな年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当健康保険組合の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、健康保険組合の財政は、非常に厳しい状況が続いています。昨年、団塊の世代がすべて75歳以上となり、2040年にかけてさらに高齢者人口が増えることが予想されます。健康保険組合の支出の4割を占める高齢者医療拠出金は今後も増え続けることが見込まれ、現役世代だけでなく、広く社会全体で高齢者医療を支える仕組みの構築が不可欠となっています。

昨年の12月2日から医療DX推進の一環として、従来の健康保険証からマイナ保険証に切り替わりました。過去の診療情報を医師とスムーズに共有することで、質の高い医療が実現しつつあります。救急車を呼ぶような緊急時でも、マイナ保険証があれば正確な医療情報を救急隊員に伝えられるマイナ救急のシステムがはじま

るなど、その利便性はますます高まっていくものと思われまます。

また、本年4月からは、子どもや子育て世帯を全世代で支える、子ども子育て支援金の徴収がはじまります。少子化対策を促進するための取り組みについて、ご理解ご協力をお願いいたします。

当健康保険組合では厳しい財政状況のもと、さまざまな変化に対応しながら生活習慣病を未然に防ぐことができるよう、引き続き保健事業を推進してまいります。皆さまにおかれましては、健康診断の受診やジェネリック医薬品リフィル処方箋のご利用とともに、各種健康づくり事業を積極的に活用いただき、健康の保持増進、疾病予防・重症化予防の取り組みにご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

